

一般旅券發給申請書

滿18歲以上

5年用

新規・切替 18 (20)

(曲り折り厳禁)

注意

一、太枠内の所定の欄に黒又は青の濃いインクで枠からみ出さないよう記入してください。

二、※のある欄では□又は□枠内に印を。その他の欄はかい書きにより(所持人自署の欄は除く)記入してください。

三、この用紙は機械で読み取りますので折らないでください。折った場合は領書に改めて記入する場合もあります。

四、わが国固有の領書は北方領土(択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島)は渡航には含まれません。

受理年月日	□□□□□	年月日	18	受理番号	□□□□□□□□□□
窓口記入欄	6 1 6 A 1 0	区分	1 該当なし 2 二重発給 3 訂正新規 4 切替新規 5 入力あり 6 裏面あり	確認	1 □
有効期間	<input checked="" type="checkbox"/> 子供	発行年月日	交付年月日	旅券番号	
<p>写真 写真は貼らずにお持ちください 注意 1. 申請者本人のみ 2. 6ヶ月以内に撮影したもの 正面、無帽、無背景 縦45mm×横35mm (ふちなし。頭は頭頂から 額までが34mm±2mm) 貼付した写真は旅券に転写さ ます -17±2</p> <p>所持人自署 署名は旅券にそのまま転写さ れ 外務 次郎</p>		<p>ヨミカタ (カタカナで記入。濁点及び半濁点は同一マス内に「ガ」「バ」等と記入してください。)</p> <p>氏名 (三行) ガイム ジロウ</p> <p>姓 (戸籍に記載のとおり、かい書体で記入してください) 外務 次郎</p> <p>姓 GAIMU</p> <p>名 JIRO</p> <p>ヘボン式ローマ字 活字体大文字で記入してください。 (枠が足りない場合は 窓口に申し出てください)</p> <p>ヘボン式でない表記を旅券面に記載する場合は裏面の氏名欄もご記入ください。</p> <p>性別 * 0 女 (該当する枠内に✓印を記入してください) 1 生年 * 2 明治 3 大正 4 昭和 5 平成 6 年月日 (月日が一枚の場合は十の位に0を記入) 160217</p> <p>本籍 (都道府県名を左詰めで記入してください) 東京都 千代田区霞ヶ関2丁目2番</p> <p>※今までに旧姓も含め旅券の発給を受けたことがありますか。 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない もし、発給を受けたことがある場合は、最後に発給を受けた旅券について記入してください。</p> <p>旅券番号 MZ 1234567 発行年月日 (西暦で記入) 2017/1/22</p> <p>最後に発給を受けた旅券に記載の姓をローマ字、左詰めで記入してください。 GAIMU</p> <p>この申請書を提出する日の年齢 18 歳以上の場合、下欄の()内に「5」と必ず記入してください。 満(18)歳 私は有効期限が(5) <input checked="" type="checkbox"/> 記入 を希望します。 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>現住所 〒03142 ソウル特別市鍾路区栗谷路6 電話 02 (739) 7400 住民票に記載の住所 の連絡先 携帯 010 (1234) 5678 居所で申請する場合は居所も下段に記入してください 韓国の住所だと、日本語、 メールアドレス gaimu_jiro@yahoo.co.jp ハンギルまたは英語で記入可 電話 () 日本国内の緊急連絡先 住所 東京都千代田区霞ヶ関2-2-1 電話 () 氏名 外務 洋子 申請者との関係 母 電話 03 (3580) 3011</p> <p>刑罰等関係</p> <p>※次の各事項に該当しているか否か、□に✓印を記入してください。 (本人又は法定代理人が記入してください。)</p> <p>1. 外国で入国拒否、退去命令又は処罰されたことがありますか。 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> はい いいえ</p> <p>2. 現在日本国法令により起訴され、判決確定前の状態ですか。 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>3. 現在日本国法令により、仮釈放、刑の執行停止又は執行猶予の処分を受けていますか。また刑の執行を受けなければならぬ状態にありますか。 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>4. 旅券法違反で有罪となり、判決が確定したことがありますか。 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>5. 日本国旅券や渡航書を偽造したり、又は日本国旅券や渡航書として偽造された文書を行使して(未遂を含む)、日本国刑法により、有罪となり、判決が確定したことがありますか。 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>6. 国の援助等を必要とする帰国者に関する領事官の職務等に関する法律を適用され外国から帰国したことがありますか。 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>現在外国の国籍を有していますか。 (※該当する枠内に✓印を記入してください)</p> <p>はい <input type="checkbox"/> いいえ <input checked="" type="checkbox"/> 「はい」の場合 どの国の国籍ですか。 _____ 取得年月日 _____年____月____日 どのような方法で取得しましたか。 外国籍の父又は母の子として出生 <input type="checkbox"/> 外国での出生 <input type="checkbox"/> 外国人との婚姻又は養子縁組 <input type="checkbox"/> 帰化申請又は国籍取得届出 <input type="checkbox"/></p>			

(別記第2号様式)

「裏面も記入してください」

用紙の大きさはA4

出発予定日 令和 年 月 日

※主要渡航先での滞在期間

3ヶ月未満 3ヶ月以上

(裏面)

※ 次の各項目のいずれかに該当する場合には、該当する項目の□に✓印をつけた上で、下記の渡航目的及び渡航先を記入してください。

① □ 表面の刑罰等関係欄に該当する事項がある場合

② □ 旅券の二重発給を受けようとする場合

渡航目的（具体的に）

②の場合は、二重発給が必要な理由も記入

今回の渡航先（渡航先国名と、コード表を参照して国コードを記入してください）

国名
□—△

旅券面の氏名表記（申請書表面のハボン式と異なる氏名表記を希望する場合、以下の氏名表記欄にローマ字活字体大文字で記入してください）（姓と名のどちらか一方の場合もあります）。また、別名併記を希望する場合、戸籍上の氏名に統けて、前後を括弧で囲んで、括弧の中に別名を記入してください。）（別名併記の記入例：GAIMU(TANAKA)）

←ヘボン式ローマ字以外の

(名)

ローマ字を希望する場合のみ

最大31字まで（別名を含む）

ローマ字を希望する場合のみ
記入

外務大臣大使總領事 殿在韓國

令和X年X月X日

法定代理人（親権者、後見人など）署名

(申請者が未成年の場合は親権者や未成年後見人等の法定代理人署名が、申請者が成年で成年後見人が選任されている場合には成年後見人の法定代理人署名が必要です。署名は必ず本人が戸籍に記載のとおり、かい書体で行ってください(署名が困難な場合を除く)。なお、署名が困難な場合であって、法定代理人でない者が記入する場合には、その者の氏名も記入してください。本人確認のために印鑑登録証明書を使用する場合は、押印が必要です。)

四、その他特に必要とされる書類
五、前回発給を受けた旅券

(令和二年十二月改正)

申請書類等提出委任申出書

(法定代理人が申請者に代わって申請書類などを提出する場合には、本様式の提出は不要です)

申 請 者 記 入	<p>(法定代理人が申請書に代わって申請書類などを提出する場合には、本様式の提出は不要です)</p> <p>私は旅券法第3条第4項の規定に基づき、下記の引受人を通じて旅券申請書類等を提出いたしましたく、申し出ます。</p>	
	<p>令和 年 月 日</p>	
引 受 人 記 入	引受人氏名	申請者との関係
	引受人住所	
<p>私は本件申請に係る必要書類等を申請者に代わり提出することを引き受けました。私が提出する申請者の所持人自署は本人自筆のもの（又は適正な記名）であること及び写真は本人のものに相違ないことを確認します。私は、過去5年間、旅券の不正取得に係わったことはありません。</p>		
注 意 事 項	令和 年 月 日	連絡先電話番号 ()
	生年月日 明治・大正・昭和・平成・令和 年 月 日	
<ol style="list-style-type: none"> 申請者の指定した者が、代わりに申請書類などを提出する場合には、提出者本人を確認するに足る書類等を提示（出）してください。 この申請による旅券取得が日本国法令の罰則に該当する場合、申請者に代わって必要書類などを提出した者も罰せられことがあります。 		

点線より上の欄は申請者
本人が記入してください

(令和二年十二月改正)

申請者以外の方が申請書類等を提出する場合には、この様式も忘れずに記入してください。

(別記第3号様式)